

## 資料 履修モデル

### 資料B-1 臨床薬学コース【履修モデル】

育成人材像：臨床を熟知した薬剤師の視点から、薬物治療における諸問題を解決し、より高度な医療の実現に貢献でき、優れた研究能力を有する人材

研究テーマ：薬剤疫学的手法による医薬品適正使用に関する研究

薬学専攻博士課程	1年	臨床薬剤情報学特別実験研究 20単位	臨床薬学系先進特論 (2単位)	臨床薬剤情報解析学特論 (2単位)
	2年		先進特別講義1 (3単位)	
			先進特別講義2 (3単位)	
	3年		臨床薬学先進実務研修・臨床研究 実務研修、学会発表と その報告 (6単位)	
4年		論文審査	最終試験 (博士論文発表会)	

想定される就職先等：薬学専攻博士課程「臨床薬学コース」の学生は、臨床医療薬学系の特別実験研究を必ず選択履修しなければならない。つまり、臨床に密接に関連した研究を行うと同時に、臨床薬学先端実務研修・臨床研究（必修）において、病院や薬局における1年以上の実務研修・臨床研究を行わなければならない。したがって、4年間の教育研究を通じて、大学附属病院の薬剤部における臨床研究に携わることのできる薬剤師、病院・薬局において最先端の薬物治療に寄与できる臨床薬剤師、大学における臨床に関連する研究者、治療薬に関するデータ収集と解析を実践できる医薬品の開発従事者、大手ドラッグストアにおける指導的立場としての薬剤師等として活躍できる人材の輩出を想定している。